

平成29年3月3日
於
府中市立教育センター

平成28年度第3回

府中市総合教育会議 会議録

府中市政策総務部政策課

平成28年度第3回府中市総合教育会議 会議録

1 開 会 平成29年3月3日(金)

午後3時25分

閉 会 午後4時20分

2 出席者

市 長 高 野 律 雄 (議長)

教育長 浅 沼 昭 夫

委 員 崎 山 弘

委 員 齋 藤 裕 吉

委 員 那 須 雅 美

委 員 松 田 努

3 欠席委員

なし

4 出席説明員

文化スポーツ部長

五味田 公 子

文化スポーツ部次長(兼)生涯学習スポーツ課長

沼 尻 章

文化振興課長

山 本 忠

生涯学習スポーツ課長補佐

宮 崎 誠

教育部長

今 永 昇

教育部次長(兼)学務保健課長

堀 江 幸 雄

総務課長

志 摩 雄 作

総務課総務係長

鈴 木 紘 美

総務課総務係

國 分 真 耶

学務保健課給食担当主幹

鈴 木 哲 夫

学務保健課長補佐(兼)給食センター整備担当副主幹

大 井 孝 夫

5 政策総務部政策課事務局出席者

政策総務部長

町 田 昌 敬

政策課長

矢 夕 崎 幸 夫

政策課主幹(兼)リソビ^oツカ^oパ^oラリ^oツカ^o等推進担当主幹

佐 藤 直 人

政策課長補佐(兼)総合計画担当主幹

板 橋 洋 光

政策課主任

秋 山 なつみ

秘書課長

柏木直人

6 議事内容

- (1) 協議題1 平成29年度教育に関する予算について
- (2) 協議題2 新給食センターについて
- (3) その他

7 傍聴者の数

4名

8 発言内容

○市長 それでは、ただいまより、平成28年度第3回府中市総合教育会議を開催させていただきます。教育長、教育委員の皆様には、お忙しい中ご出席いただき、心より感謝申し上げます。また、平素より、府中市の教育にご理解とご協力をいただき、重ねて御礼申し上げます。

本日は、「平成29年度教育に関する予算について」などにつきまして、ご協議をお願いします。皆様の活発なご意見をいただき、さらに教育に関し、市長部局と教育委員会の連携を深め、本市の教育行政を一層推進していきたいと存じますので、どうぞよろしくお願いたします。

◎傍聴許可

○市長 また、この会議は、法律及び当会議の運営規程により公開が原則とされております。本日の会議は、協議題1「平成29年度教育に関する予算について」及び協議題2「新給食センターについて」の2件についてご協議いただく予定でございますが、傍聴を認めることとしてよろしいでしょうか。

○教育長、教育委員 異議なし

○市長 それでは、傍聴を認めます。

◎議題1 平成29年度教育に関する予算について

○市長 では、会議次第に沿って議事を進めてまいります。本日の協議題は、次第のとおり、1の「平成29年度教育に関する予算について」及び2の「新給食センターについて」です。はじめに、協議題1「平成29年度教育に関する予算について」です。

平成29年度当初予算につきましては、前回の10月20日開催の第2回会議におきまして、教育長から、教育委員会における平成29年度施策展開の方向性についてご説明をいただきました。その後、10月の政策会議、12月、1月の予算編成会議を経まして、現在会期中である第1回定例会の予算委員会にて審議、議決後、成立することになります。教育

委員の皆様におかれましては、この総合教育会議のほか、日頃よりご意見をいただき、予算編成にご協力いただきましてありがとうございました。

それでは、平成29年度教育に関する予算について、資料に基づき、主な内容を説明させていただきます。資料1をご覧ください。まず、府中市全体の一般会計予算総額は、1,046億円となり、前年比で36億円の増となりまして、本市で初めて当初予算として1,000億円を超える予算規模となった今年度予算をさらに上回るものとなっております。この予算編成に当たっては、府中で誰もが安心して過ごせるとともに、ふるさと府中への愛着を深められるよう、交通インフラ・道路基盤の充実やインフラマネジメントの推進、健康長寿社会の実現と夢と希望にあふれる次世代の育成などの、くらしの「安定」とまちへの「愛着」に関する施策、府中駅南口再開発事業の完了を迎え、新たなにぎわいの創出による地域経済の活性化を目指し、府中の魅力をより一層高めるための、まちの「活力」と「飛躍」に関する施策、地域におけるつながりや支えあう仕組みづくりを発展させる、市民との「対話」と「協働」に関する施策の充実に努めました。

次に、教育費の主な新規・レベルアップ・投資的事業についてですが、学校教育関連では、新規事業として、学校施設改築・長寿命化改修計画の策定、及び給食センター開設事業、レベルアップ事業として、教育委員会だより及びホームページの充実、小・中学校での情報セキュリティ対策に係る経費などを計上しております。また、投資的事業として、第五中学校の重層体育館防水対策事業、第十中学校のプール改築事業、給食センター新築事業などを編成しております。文化・スポーツに関連する予算といたしましては、新規事業として、川崎平右衛門ゆかりのまち交流事業、市政情報センターにおける図書資料の貸出・返却資料取扱業務、フィンランド・デザイン展広告費などの府中市美術館展覧会事業、レベルアップ事業として、文化振興計画の策定、府中駅伝競走大会におけるコース変更及びオリンピック招聘に関する経費、投資的事業としては府中の森芸術劇場分館整備事業、朝日サッカー場の改修、国史跡武蔵国府跡国司館地区の第1期保存整備工事、などが主な事業でございます。

教育委員の皆様には、すでに1月の教育委員会定例会にて、内容についてご審議いただいているかと思いますが、ここで改めてご報告させていただきます。予算内容等についてご意見などございましたらお願いいたします。

○齋藤委員 市長には教育委員会関連の平成29年度予算案の編成につきましては、様々なご配慮をいただき、誠にありがとうございます。先に教育委員会からの意見の聴取をしていただいたわけですが、その予算案の内容はどれも大切なものばかりであると思います。私が特に注目している点についていくつか申しあげたいと思います。まず一つ目に来年度の一番大きな事業と思われるのは、新給食センターの竣工と供用開始という点ですが、これにつきましてはこの後に申し述べます。

二つ目は学校施設老朽化対策の計画策定等の事業がいよいよ全面に出てきたことです。老朽化対策は学校施設に限ったことではないわけですが、これから次第に拡大していく課題であろうかと思われます。一方では学校の大規模化が進みつつあるところもあるので、今

後は学校の老朽化対策と大規模化対策という課題を関連させながら対応を考えていくべき部分もあるのではないかと思います。

三つ目は、昨今しきりに言われております、学校の教員の多忙化に対応する施策です。教員がはつらつとして子供たちと向き合う時間をなるべく多く確保できるような支援を行っていくために、予算面でも副校長等校務改善支援事業費を計上していただいておりますが、こうした地道な支援が教員を励まし、教育指導により影響をもたらすことは間違いないと思いますので、引き続きよろしくお願ひしたいと思います。

四つ目は社会教育費関連でも多くの重要な事業について、必要な予算案を計上していただいておりますが、教員経験の長い私には特に郷土の森博物館のプラネタリウム改修工事が楽しみなところです。科学技術教育が重視される中で市独自のプラネタリウムを持ち、これをさらにリニューアルするという事は素晴らしいことでもあります。完成後に参観する子供たちの歓声が聞こえてくるようです。府中の子供たちは恵まれていると思います。もちろん市民の皆さんにとっても貴重な生涯学習の場の一つとなることは間違いないと思います。

○市長 ありがとうございます。学校給食センターについては、後ほどご審議いただくことにしまして、施設老朽化対策の計画を策定するということが、もはやまったなしではないかと思います。府中市は人口が昭和30年代の後半から急増しましたので、30年代半ばから学校を建築し、ほぼ40年代が終わる頃には今の数になっています。したがって、一番早く作った学校の中で50年を経過している学校もいくつかありますので、全部で33校ある小中学校の大半は、今後そう遠くないうちに計画を立て、長寿命化もしくは改築が迫られているという状況であると思います。

それから学校の教員の多忙化についてですが、これは私も同じような認識を持っています。近年特に先生方の仕事は非常にきめ細かさが求められるうえに、範囲が広がっていると思います。副校長等校務改善事業を行ってまいりまして、それなりの成果が上がっていると思います。やはりまだまだこの事業についてはしっかりと構築をしていかなければならないと思いますし、また広く地域やご家庭の教育力も頂戴をして、まさにコミュニティ・スクールを実践していきたいと考えています。

それからプラネタリウムについて具体的にお話をいただきましたが、府中という文字をアルファベットで書きまして、FをとるとUCHU（宇宙）となります。このプラネタリウム事業は、府中市の郷土の森博物館の事業の中でも非常に人気のある施設であります。事業者あるいは文化振興財団と協働で改修を進めていただいておりますので、運営も協働の体制となっていますので、しばらくの間、半年くらいの間ですか、休館をいたしますけれども、完成を楽しみにしております。

○齋藤委員 ありがとうございます。ぜひ、よろしくお願ひいたします。

○那須委員 学校現場で先生方に情報セキュリティに努めていただくことは、保護者の安心にもつながりますので、情報セキュリティ対策の予算立てをしていただき、ありがとうございます。

ざいます。また、学校訪問をする中で、先生方から学校施設に関するご意見を伺うことも多くあります。先ほど市長のご発言にもありましたけれども、新たに学校施設改築・長寿命化改修計画の策定予算を取っていただいたことは、後手に回りがちな施設保守に関しても、児童生徒増加予測を含めて、先を見据えた全市的な計画を立てられるものと思っております。

社会教育面においては、文化・芸術・スポーツの支援や生涯学習の推進に関連する多くの予算をいただけて感謝しております。なかでも、市政情報センターにおける図書資料の貸出・返却や府中の森芸術劇場の分館整備事業などは、利便性が大きく向上するため、市民からも期待が大きいところだと感じております。

○市長 情報セキュリティ対策は極めて重要なことで、やはり子供たちあるいは保護者に関しての個人情報、先生方も含めて、個人情報保護の観点から極めて重要なことだと認識しておりますので、必要なことはしっかりと対応していきたいと思っております。

また、先ほど齋藤委員のご意見のなかで私の方でコメントできませんでしたけれども、やはり大規模化しているということ、児童生徒の増減がみられるということ、非常に様々な変容がありますので、那須委員がおっしゃったように、児童生徒の増加予測も含めてこの改築・長寿命化計画についてはしっかりと見通しを立てて計画を立てていきたいと思っております。

それから市政情報センターや芸術劇場分館ですが、いよいよ7月14日に府中駅南口の再開発を進めてきました、「ル・シーニュ」という建物ですが、その5階6階の市民活動センター「プラッツ」と「バルトホール」は、ほぼ同時にオープンをいたしますので、ご利用いただいて、皆さんがさらに生涯学習に励んだり、市民協働の取組が活発に行われること、そして飛躍していくことを期待しています。

○崎山委員 レベルアップ事業に教育委員会だより及びHPの充実とあります。確かにすでにHPはありますが、府中市の各学校の状況などを含めた学校教育、また図書館、美術館など生涯教育に関する情報はまだまだ不十分と言えらると思っております。情報発信の手段としてHPは有用ですし、市民に教育委員会が行っていることを説明する媒体として、ぜひ充実させていただきたいと思っております。最近スマートフォンでアクセスする人も多いと思っておりますが、携帯画面にも対応したHPも必要だと思っておりますので、その対応もできるようによろしくお願いいたしますと思っております。

また、同じくレベルアップ事業に示されている、府中駅伝競走大会のコース変更について、市長さんも毎年走られておられますが、現在のかぜのみちも、早春の多摩川沿いを走るなかなか捨て難いコースです。市街地へのコース変更はどのような効果が見込まれるか、教えていただきたいと思っております。

○市長 情報発信の手段というのは、現代社会においては極めて重要で、情報をいかに発信するか、また魅力ある内容をどう発信するかということに事業の成否がかかっているということもあろうかと思っております。また情報機器の種類にも対応しておりますので、幅広く発信し、多くの方に受け取っていただけるように常にしていかなければならないと思っております。

それから、駅伝についてご質問いただきました。この市街地への変更につきましては、駅

伝競技を通じた「スポーツタウン府中」の更なる発展、それから世界的なスポーツイベントでありますラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピックの気運の醸成、また、市街地の活性化を図るためなど、複合的に考えて平成29年度については変更をしたいと考えております。もちろん早春の多摩川沿いを走ることを否定しているのではなくて、今年も私も走り、苦しい時期もありましたけれど、基本的にはさわやかに早春の多摩川の風を感じたところでもあります。これまであまり駅伝というものを知らなかったという方もいらっしゃいますし、関わりを持っていなかった市民に対して、市の中心部に近い場所で開催をして、オリンピックをはじめ多くの市民ランナーが実際に走る姿をご覧いただくことで、各大会とスポーツタウン府中をより身近に感じていただいて、何らかの気付きを持っていただけるのではないかと思います。参加する方は府中市民ばかりではありませんので、市内外から多くの方が選手として、また応援や見学などの応援団としておいでいただけると思いますので、その集いの交流の場としていただくことによって、市街地のにぎわいの創出を図っていきたいと考えています。これらを通じて、この事業が、平成29年度の予算編成の三つの骨子を先ほど申しあげました、「まちの活力と飛躍」につながると考えています。

○崎山委員 確かに今の説明で、観客が集まりやすい、人目に触れやすいなどという利点で違うコースになることがわかりました。私も教育委員会チームで3年前に1度だけですが走りましたが、この駅伝大会の日は、かぜのみちは午前9時から午後1時頃まで自転車通行止めになればランナー専用コースになります。市街地を走るコースとなって長時間にわたり交通規制をする、そうすると今回の東京マラソンもそうですが、道を横切る人の流れも制限されるなど、市民生活に支障が出る懸念があると思いますがその点に関してはいかがでしょうか。

○市長 そこは一番心配なところでもありますので、警察との協議でもそのことを第一に考えてなければならぬと思います。また、先月の大会において、もうすでに翌年のボランティアの募集もしておりまして、多くの方のご協力をいただき、ご理解をいただいて、しっかりと支障がないように運営を心掛けたいと思います。

○五味田文化スポーツ部長 少し加えて説明させていただきます。ただいまの市街地コースの変更ですけれども、警察と協議をさせていただいている段階ですが、選手はもとより、通行者、交通機関、近隣住民、こういった方々への配慮についてもご指導をいただきながら進めてまいりたいと思っております。今お話がありましたように、大会共催者であります府中市陸上競技協会とも十分協議いたしまして、交通規制による影響が最小限になるように、適宜、競技要項の見直しを行い、交通規制の内容及び範囲について決定していきたいと考えております。併せまして、そういった関係機関への説明のほかに、近隣住民などへは説明会を実施する予定としておりますので、そういったところでご理解をいただくとともに、皆様からのご意見を踏まえまして、周知チラシの配布をはじめ、事前周知に努めるなど、必要な対応策を講じながら進めてまいりたいと思います。

○**崎山委員** わかりました。

○**松田委員** ラグビーワールドカップ2019や東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地招致に向けての朝日サッカー場改修、個人的にもとてもうれしく思います。キャンプ地の誘致がかなえば、ワールドカップやオリンピックに出場するトップアスリートと市民の方々との交流機会を設けることができると思いますし、そうした交流を通して、海外の方々と市民の方々の国際交流の機会が広がるなど、様々な効果が期待できると思います。ふたつの大会終了後も、もちろんいろいろ活用できると思いますし、様々な競技団体があると思いますが、市のスポーツ推進計画でもふれているように、スポーツをする、見る、支える、育てる環境として、市民の誰もがスポーツ活動に親しめるような場を提供できるようになるといいですし、特に子供たちが快適な競技環境でスポーツに親しめるようになったらいいと思います。また、大会気運の醸成ということでは、先ほどもお話が出ておりますが、府中駅伝大会でのコース変更の実現やオリンピックなどの招聘で、ますます多くの方に大会に参加していただき、盛り上げていただきたいと思います。私ごとですが、今週東京マラソンに参加して走ったのですが、やっぱり街頭の応援というか、東京の街中を走る爽快感、もちろん多摩川沿いももちろんですけども、なんともいえない街中を走るそういう素晴らしい感覚を経験したので、ぜひやって欲しいと思います。

○**市長** 駅伝のコースについては自らご感想も述べていただきましたけれども、やはり多くの方の応援がある中で走るというのは、お互いに非常に快適な気持ちになるのではないかなと改めて申しあげたいと思います。それから朝日サッカー場をはじめ、キャンプ地誘致のための施設改修については、もちろん過度な投資をするというのはよくないと思いますけれども、しかしながら、世界のトップレベルの人たちが府中に来て、練習をし、またチームの関係者だけではなくて、報道陣や観光客などいろいろな方々がある程度の長期間にわたって、府中市内を訪れていただくということは、しかもそれが2年続けて大きな大会があるということは、これから先数十年そうはないと思いますので、ぜひできる限りの努力をしていきたいと思います。ぜひご協力をお願いします。

○**齋藤委員** 今後数年にわたる新たな課題として考えられますことは、新しい学習指導要領への対応ということでございます。先日、次期学習指導要領の案が公表されまして、小学校では2020年度から、中学校では2021年度から全面实施される予定の内容案が示されました。そこでは、これからの社会はグローバル化と情報化のさらなる急速な進展が予想されるとして、それに対応するための小学校での英語教育の本格導入やプログラミング教育なども含めた情報活用能力の育成などが挙げられています。全面实施は3年後ですが、これからの移行期間中に市としてもできるところから進めていった方がよいのではないかと考えております。お考えいただければと思います。

○**市長** それでは指導要領に関することなので、教育長よろしいですか。

○**教育長** ただいま齋藤委員から出されました次期指導要領関連につきまして少しお話ししたいと思います。まず、小学校の英語科なのですが、小学校3年生、4年生に、聞くこと話

すことを中心とした外国語活動、今までは5年生6年生だったのですが下の学年に移り、そして5年生、6年生では、それに読むこと、書くことを加えた、いわゆる教科型の外国語教育が導入されます。そして、その結果、この授業時間数が35時間ということが提示されておりますけれども、まずはその時間をどのように確保するかということが大きな課題であります。また、加えまして、小学校で指導される先生方の英語の授業の授業力、指導力をどのように高めていくかも教育委員会としての大きな課題として受け止めています。これについては移行を待つまでもなくできるところから着手していきたいと思っております。府中市では小学校での英語活動を10年以上前から取り組んでいます。そして、中学校では全部英語で授業をするという取組もありますので、そういった実績、それからその取組の中で力をつけていただいた先生方がいらっしゃること、それからALTの派遣につきましても、これは質を考えていいALTと派遣しようということで取り組んできましたので、こういったこともこれからの力になると思います。さらに中学校英語科の先生がいらっしゃいますので、小・中連携の推進を積極的に行っている、その強みを活かして、できることから取り組んでいきたいと考えております。

続きまして、プログラミング教育ですけれども、今度の学習指導要領は、基本的に今まで学ぶ内容について規定していたのが、どのように学ぶか、目標や評価として何ができるようになるか、と言ったことも見据えた学習指導要領に改善されるということが示されております。プログラミング教育あるいはその学習過程で使うツールとしてのICT教育という視点も大事だというふうに考えております。今年そして次年度、東京都のICT教育整備事業という事業を、本市の第三小学校、矢崎小学校、第八中学校が実践的に研究に取り組みまして、先日第八中学校が実績を発表しました。このような取組の中から成果と課題を明確にして、ICT教育を推進していきたいと考えています。いずれにしましても、子供たちが活躍する未来社会を展望したら、今後10年間の義務教育の根幹を成す学習指導要領の改訂でありますので、現状を評価、分析いたしまして、府中市の学校教育の更なる改善につなげるチャンスにしたいという思いから、指導室では新教育課程検討委員会を設置しようということで、校長先生らと相談をし、準備を進めているところです。また、指導室だけではございませんで、教育部の学務保健課、総務課、文化スポーツ部も新しい教育課程と密接に関わる内容もございますので、各部各課それぞれの課題として捉えていき、新教育課程の編成を実施していく上で、どのような課題があつて、どのようにそれを改善していくかということを確認した、より具体的な策をこれから構築していこうと考えています。

○齋藤委員 ぜひ、これからさらに前向きに学校教育を進めていただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

○市長 それでは議題1につきましては、ここまでとさせていただきます。

◎議題2 新給食センターについて

○市長 続きまして、協議題2「新給食センターについて」であります。

老朽化する給食センターの施設整備を図るため取り組んでまいりました新給食センターにつきまして、いよいよ平成29年度2学期から供用を開始します。供用開始に当たっては、子供たちに安全、安心でおいしい給食を提供するため取り組むほか、施設見学や試食体験などを実施し、食育の拠点として様々な取組をしていくことと思います。本日は開設に向けた状況をご報告させていただくとともに、今後の食育の取組等について意見交換をさせていただきたいと思っております。それではまず教育部長よりご説明をいたします。

○今永教育部長 それでは、新給食センターの概要等につきまして、お手元の資料を元に簡単にご説明申し上げます。

給食センターにつきましては、現センターの老朽化等への対応から、新築に取り組んでおりまして、平成29年度2学期からの給食提供を目指し、現在、建築工事が進んでおります。新センターでは、全市立小・中学校に対し給食を提供するもので、1日当たり22,000食を提供可能とし、国内最大規模のものとなります。

その特徴でございますが、まず、「安全・安心な学校給食を提供するために」ドライシステムの導入や食材の一方通行化、汚染・非汚染区画の明確化など衛生面を強化いたします。裏面をご覧ください。次に、「おいしい学校給食を提供するために」、本市の特徴である手作り給食を継続するほか、炊飯施設を導入し、センターでご飯を炊きます。次に、「府中っ子の食育の拠点とするために」見学通路や調理実習室等を設置します。最後に、食材納入から調理まで、独立したアレルギー対応調理室を設置するほか、平成30年度からは対応品目を増やすなどアレルギー対応を充実してまいります。簡単ではございますが、説明は以上でございます。

○市長 続きまして、教育長より食育の具体的な取組内容についてお話いただけますでしょうか。

○教育長 それでは、私から、少し補足でお話をさせていただきます。まず、新給食センターの規模につきまして、先ほど説明がありましたが、全市立小・中学校に対し、最大22,000食の給食を提供可能とするということで、これは一つの施設としては日本最大級のものとなっております。この食数については、当初は多過ぎるのではないかなどの論議があったと聞いておりますが、平成28年度5月時点で児童・生徒数は19,217人、これに教職員数や講師、これが1,000人強、あるいは事業者等々含めると、21,000人に近くなってきております。現在も児童・生徒数は増加傾向であることを考えますと、ある程度余裕を持った食数設定は、先見の明があったものと感謝しております。

次に、新センターにつきましては、「食育の拠点」として活用してまいります。具体的には、児童・生徒に見学・試食いただくのはもちろんのことでございます。一般市民の方々や、就学前の幼稚園や保育所の幼児と保護者にも見学・試食をする機会が持たせたいと、教育的価値が高いのかなと思っております。さらに、せっかく施設を整備していただきましたから、調理実習室を活用しまして、給食に関する料理教室の開催や、市内の高校・大学や地元生産者の方々などと連携した取組なども行いたいと考えております。ちなみに、新セン

ターが完成したらぜひ見に行きたいというご意見を数多く頂戴しております。

最後に、新センターでは、アレルギー対応の充実を図ってまいります。対象品目の拡大なども行ってまいります。まずは学校現場での安全を第一にしてすなわち児童生徒の体や命の安全を最優先にして、取り組んでまいりたいと考えております。

○市長 ありがとうございます。給食センターの完成、供用開始は、市全体でみましても来年度の大きな事業の一つです。私もこれを単に施設の完成とは捉えずに、新たな食育のスタートにしていただきたいと考えています。教育委員会におかれましても、これまでに予算編成等を通して様々な議論をされていることとは存じますが、改めましてご意見を伺えますでしょうか。

○齋藤委員 新給食センターがいよいよ今年9月から運用開始となり、おいしく栄養があって安全な給食の提供が始まることを楽しみにしているところです。大規模なセンター方式による給食ということで、この方式の良さを子供たちや保護者の皆さまはもちろんのこと、広く市民の皆様にも十分納得していただけるようにしっかりと事業を推進していく必要があると思っております。特にこれまで自校方式であった学校については、新方式のよさを、提供する給食そのもので示していくことが大切かと思えます。

また、食育推進の拠点としての役割を果たすことも重要であります。そして、おいしく栄養があって安全な給食を提供するためには、日常的に細やかな神経を遣う必要があると思えます。さまざまなリスクの想定される分野でもあるので、それをしっかりと管理していくことが重要な課題の一つであると考えております。市長におかれましては、今後ともこの事業へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

○市長 ありがとうございます。新給食センターを造るに当たっては、いろんな議論を重ねてきました。そのなかで今齋藤委員からお話ががあったように、今小学校が3校、単独校で調理しておりますけれども、そういったところの環境変化に対する配慮、それから多くの食を提供するというので、大規模化によってきめ細かさが足りなくなるのではないかと、そういったご意見やご心配などもいただきましたけれども、いかに温かい食を学校に届けるか、そこに真心をのせるか、そのためにもいろんな配送業務の研究などもありましたし、なんと言っても炊飯というのが非常にこだわったところがございます。皆様方がこれだけ注目しておりますので安全、安心でそしておいしい食の提供、そして施設を訪れていただいて、見学したり、実習に参加したり、そういったことで更なる関心を寄せていただいて、みんなが充実したセンターにしていけたらと思っております。

○教育長 センター方式、自校方式ということですが、基本的には栄養士の方、調理師の方、作る方々の気持ち、心の込め方といいますか、そういったことが極めて重要なことかなと思えます。その点に関して考えてみますと、新しい学校給食センターでは今までと違いまして、調理作業が環境、条件ともかなり良くなっております。冷房、暖房が入ることなど、まさに給食を作るということに集中でき、よりおいしい給食ができるのではないかと期待しております。

○**松田委員** 先ほどご説明いただきましたように、府中市の特徴である冷凍食品などを使わない手作り給食を継続するための素晴らしい厨房設備の導入や地場産食材の活用の促進など、新給食センターの完成を通して、これまでどおり、またそれ以上においしい給食を提供していただきたいと思います。また、食育のための研修場所や調理実習室など、給食に身近に触れることのできる施設の充実など、とても楽しみです、その活用に期待しています。

○**市長** これまでも地元農家の皆様が生産した食材を使うように心掛けてきましたので、これは当然続けていくということと、それから農業者の皆様にもいろいろな食材の使い方と調理、生かし方を直接子供たちに触れる場面で伝えていただくこともできればいいなというふうに思っております。いずれにしても施設は十分な施設ですから、そこにどう息を吹き込んでいくか、それがこれから問われると思いますので、しっかりと努めてもらいたいと思います。

○**崎山委員** 現在、府中市では、給食の食材並びに実際に提供された給食について、放射能検査を実施、結果の公表をしています。しかしその結果は「検出せず」という報告が続いています。今後、セシウムが増加するリスクはないので、検査の方法を見直したほうが良いと私は思っています。今年9月の給食センター供用開始を機に、この調査を終了するか、もし実施するとしても、納品された食材をシンチレーションサーベイメーターでチェックするなど、簡易的な方法への変更が望ましいと思います。HACCP（ハサップ）の考え方からしても、また子供に安心安全な給食を提供するという考え方からしても、すでに子供たちが食べてしまった給食の放射能を測定するというよりも、給食センターに納品された段階で、つまり子供たちが食べる前で放射能をチェックする方が、子供たちに優しい方法だと考えております。いかがでしょうか。

○**市長** 放射能の検査については、これまでいろいろな不安をお持ちの方々のご意見を踏まえて検査を続けてまいりましたけれども、給食センターで検査をする、あるいはどちらかの専門機関に出して検査をするなど、本当に様々なところでの重層的なチェックというのが今も社会全体でできていると思いますので、今すぐどうこうということは私の方からは申しあげられませんが、もう少しいろいろ協議する必要があるかと思えます。貴重なご意見として承って、より効果のある、そして子供たちにも理解しやすい、そういった方法を考えていきたいと思えます。

○**那須委員** 私は、平成22年度に学校給食センターの老朽化対策について検討する協議会に参加しておりました。当時、実際に学校給食センターを見て、とても老朽化が激しく、また、排気や空調などの観点では過酷とも思える労働環境の中、調理員の方々の努力で安全な学校給食が提供されているのだとの感想を持ったことを思い出します。給食提供に影響の出る現敷地での建替ではなく、建設用地が取得できたことは大変良かったと思います。自校調理方式校の保護者の方からは、給食の質の低下や、今でしたら学芸会があるとその演目や主人公に関するおかずが出たりするのですが、そういった細やかなことが大規模になるとなくなるなど、いろいろな心配の声も聞かれますが、府中市の「安全・安心でおいしい

手作り給食」は、そのような方々にも納得いただけるものと思います。また、市長もおっしゃっていましたが、今回施設内炊飯になることも利点の一つであると思います。これは過去にお聞きしたことですけれども、ご飯の量が少ない学校が生じた際、炊飯が外部委託のためにスムーズな対応ができなかったこともあったということをお聞きしたことがあります。施設内炊飯になることによって、柔軟な対応も可能かと思えます。

予算をかけて立派なものを造るわけですから、教育部内での運用に留まらず、新しく設けられる会議研修室や調理実習室を利用して、例えば、美術館の企画展内容に因んだ調理実習会を開催するとか、福祉や地域コミュニティ支援に利用するなど、担当が違う部署とも連携した運用方法の検討も大切だと思います。

○市長 先ほども話をさせていただきましたが、立派な施設ができた、しかしこれが目標だったわけではなくて、ここからどう息を吹き込んで、子供たちがいかに健やかに食育をしっかり身につけていくかということが大事なことであります。確かに土地があったというか、これは東京都から市が購入したのですけれども、隣接する調布市さんや三鷹市さんからのご理解もいただいて、用地が確保できたということで、これが今振り返ってみると極めて重要な時期にしっかりと確保できたのが良かったのだらうと思っています。

それから、違う部署との連携というお話をいただきました。これはまさにそのとおりでありまして、給食センターが教育部の施設であるというそれだけではなくて、市全体でいかに活用するか、そしてその連携をいかに子供たちの成長に反映させるか、それが重要な視点だと思います。どうもありがとうございました。

○教育長 ご指摘のとおりだと思います。来年度の2学期から給食の提供するのですけれども、夏休み中にランニングテストを行う、そして試行的に学校に提供するわけですけれども、新聞等の報道でもおわかりのとおり、一度事故等が起きますと、教育課程が円滑に実施できないということになりかねませんので、まずは食い留めるようにする、各学校に給食が出る時にチェックするというところに力を注ぎ、加えて様々な部署との連携、強化をして、食の拠点としての機能を果たしていくということになればうれしく考えております。

○市長 他にこの件についてなにかありますか。よろしいですか。それでは以上で、協議題2新給食センターについての協議を終わります。

○市長 続きまして、最後にその他に移ります。本日の協議題のほかにお気づきの点等ございましたらお願いいたします。

○崎山委員 以前も話したかもしれませんが、ご多忙の中、中学校の卒業式に市長が出席されることはとてもありがたいことだと思います。昨年、浅間中学校の卒業式に私も出席しておりましたが、「生市長が見れた」とはしゃいでいる生徒が何人もいました。府中市に親しみを感じる要素の一つとなることだと思います。大変でしょうけれど、このような機会をぜひ続けていただきたいと思えます。

○市長 浅間中学校の当時の1年生7、8人が職場訪問で私のところに尋ねて来られまし

た。「卒業式の時、何の仕事をしているのですか？」と質問され、どきっとしました。教育長に相談したところ、それはその1年生が3年生になる時を待つのではなくて、すぐに行ったらどうですか？とアドバイスいただき、去年の3月の卒業式に出席をしました。その生徒さん何人かが私を待っていてくれて、写真を撮ってまたはしゃいでくれ、私も大変温かい気持ちになりました。今年も1校しか行けませんが、卒業式に出席をさせていただいて子供たちが巣立ち行く姿をしっかりと目に焼き付けたいと思います。ありがとうございました。

それでは本日協議事項は全て終了しました。最後に事務局から連絡はありますか。

○佐藤政策課主幹 今後の予定でございますが、平成28年度につきましては、今回が最終ということになります。次年度は現在のところ未定となっておりますので、また改めてご連絡させていただきますのでよろしくお願いたします。

○市長 本日の開催につきましてはご多忙のところお時間をいただき、ご協議くださりありがとうございました。これで本年第3回府中市総合教育会議を終了させていただきます。